南阿蘇鉄道の全線復旧を見据えた高森町将来道路ネットワーク計画　計画概要版

1．はじめに（計画の概要）

1-1 計画の背景と目的

この計画は、**南阿蘇鉄道の全線復旧を見据え**、高森町に求められる将来道路ネットワークを設定する事を目的として、平成２９年度に高森駅を拠点とした地域づくりを設定した**「南阿蘇鉄道沿線地域公共交通網形成計画」**をはじめとした各種上位計画における将来構想の実現に向けた将来的な道路ネットワークのあり方を設定したものです。

1-2 対象地域・路線

本計画は、高森町を対象地域とし、対象路線については、道路管理者を問わず高森町内の路線や関連する路線すべて（国道・主要地方道・一般県道・町道）としています。

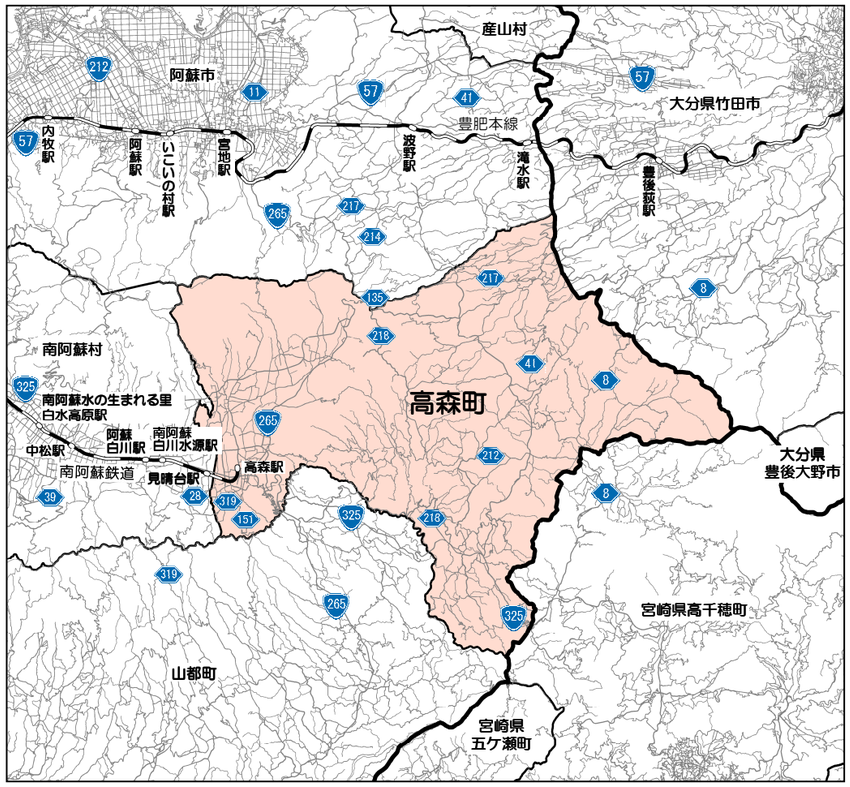


図　対象地域

1-3 計画の策定年

平成 30 年 12 月策定

1-4 計画の構成

本計画は下記のフローに示す内容で構成しています。

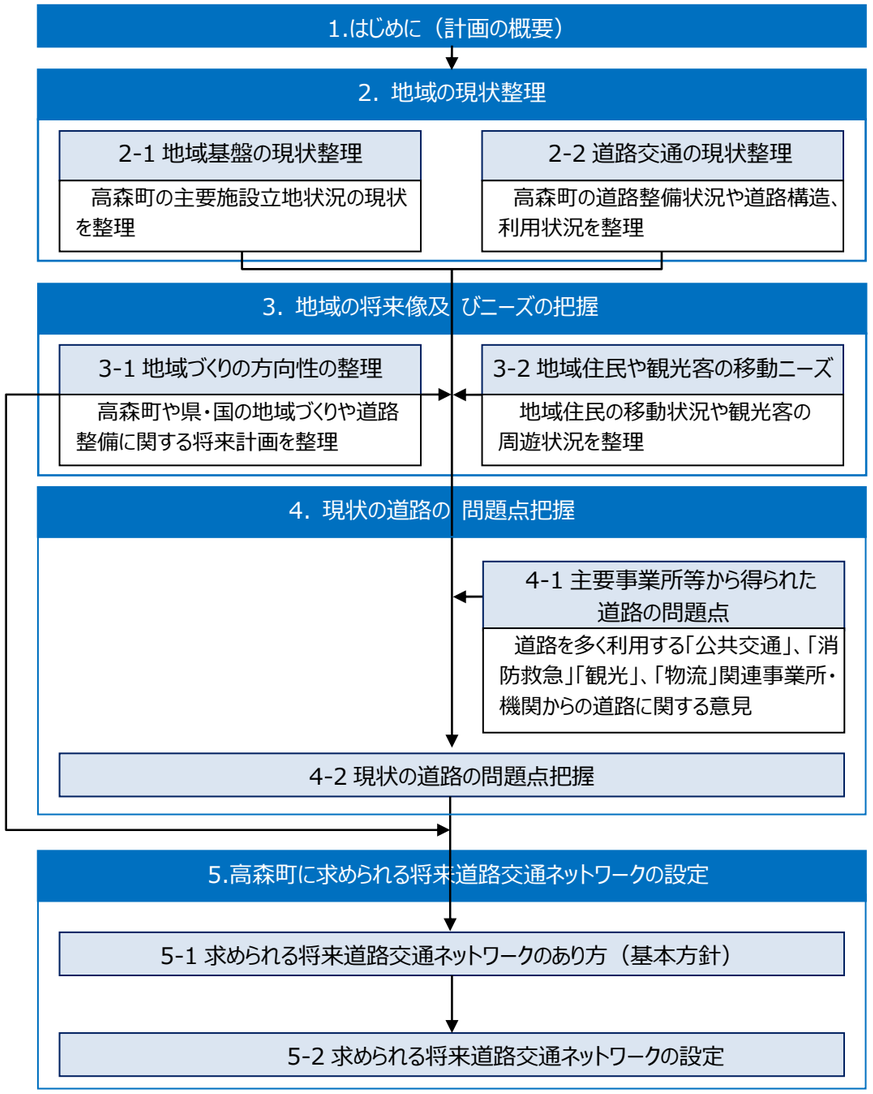


図　計画の構成

2．地域の現状整理

2-1 地域基盤の現状

〇主要な施設は町西部の高森地区に集中
〇高森町内にはない、都市サービスを享受できる最も最寄りの地域は「阿蘇市」

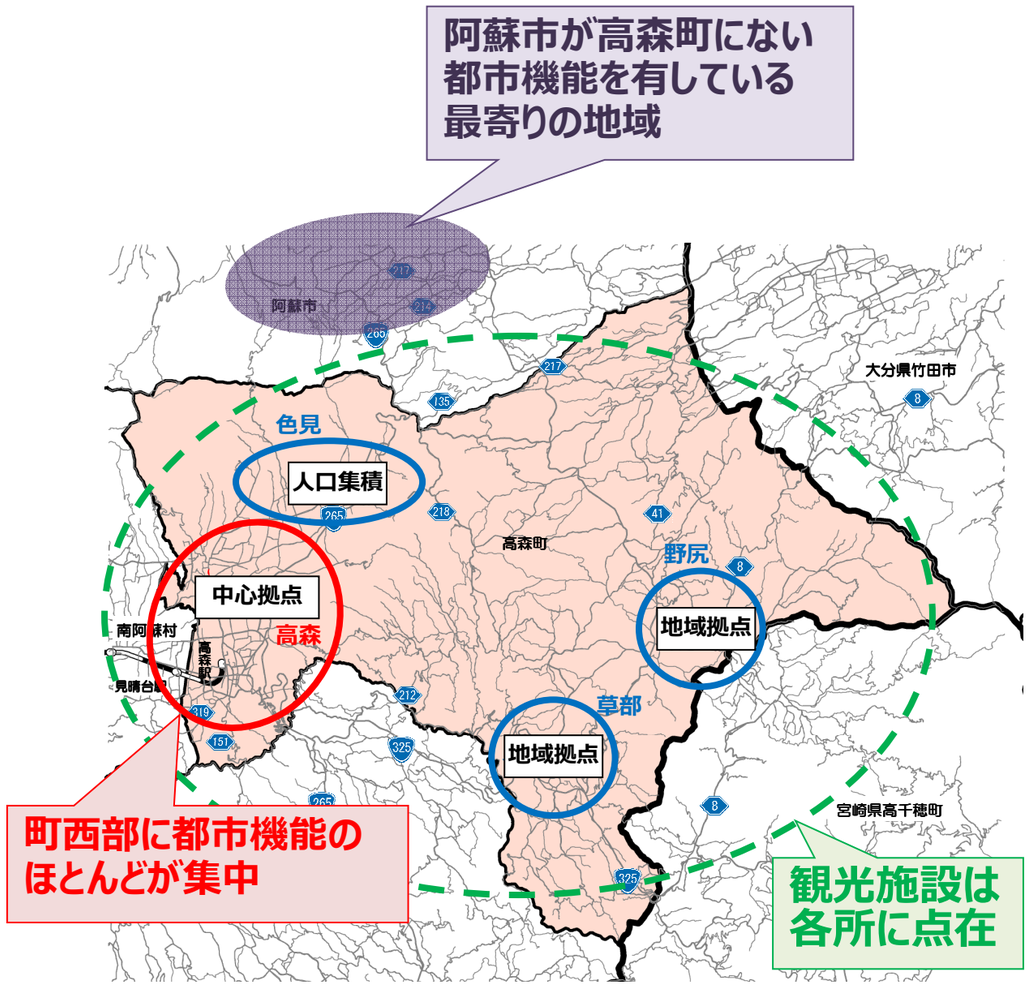


図　地域基盤の現状

2-2 道路交通の現状

〇国道 325 号、国道 265 号及び県道 28 号（熊本高森線）の 3 路線が主要路線
〇国道 325 号や県道 28 号（熊本高森線）は、比較的質の高い路線
〇国道 265 号は、急カーブ区間を多く有するなど走行性に問題を有する路線
〇その他一般県道や町道では、改良率が低い路線も見受けられる

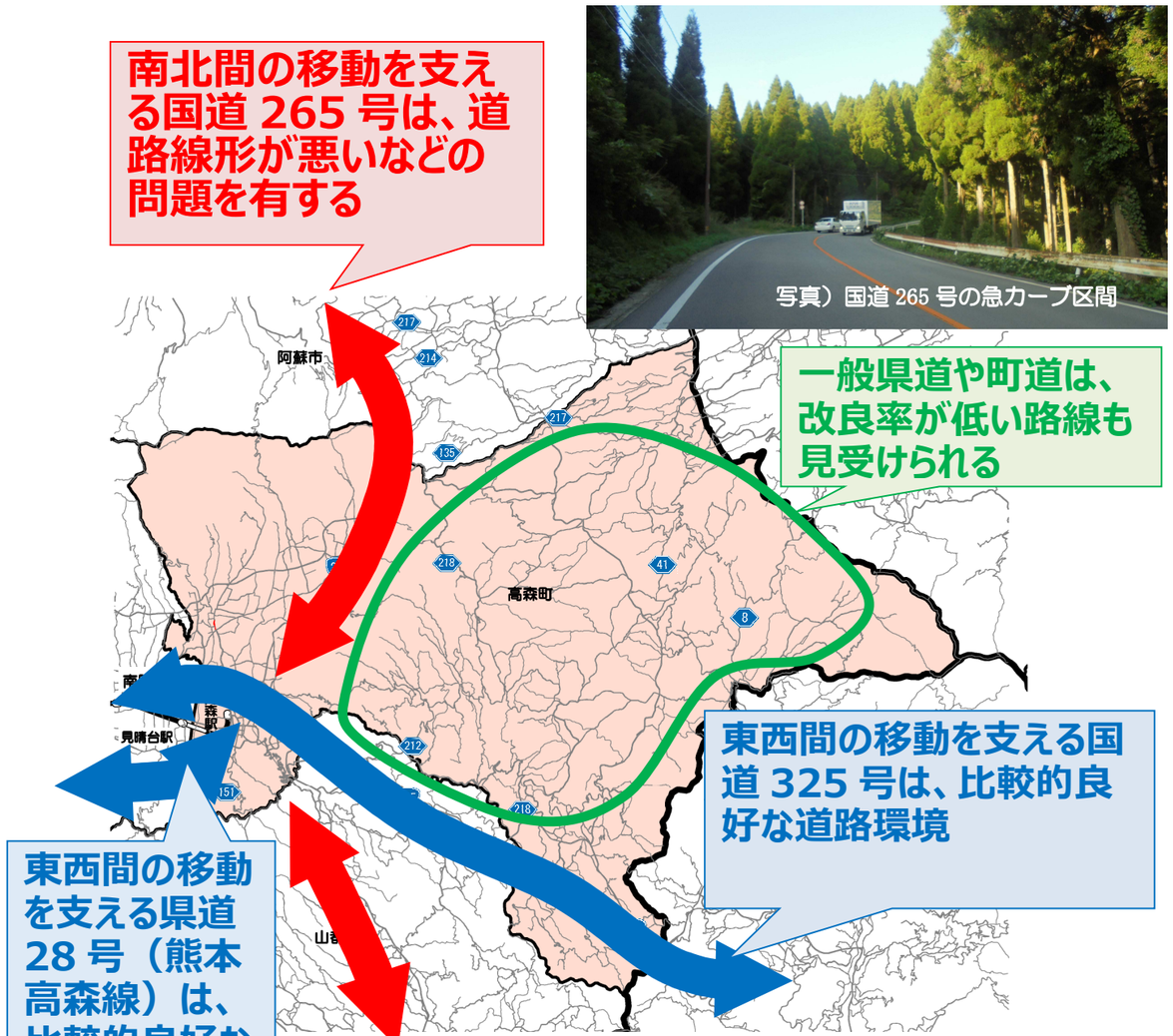


図　道路交通状況の現状

3．地域の将来像及びニーズの把握

3-1 地域づくりの方向性の整理

○将来の地域づくりのキーワードは**『高森駅を中心とした「定住」「観光」「防災」による地域づくり』、『地域間交流促進・地域間連携』、『観光振興・周遊観光』、『農業活性化』**
○道路関連では「九州中央自動車道」、「中九州横断道路」が整備中で、これら道路との接続確保が重要

図　熊本県の将来道路ネットワーク

資料：広域道路整備基本計画（熊本県）

3-2 地域住民や観光客の移動ニーズ

○地域住民の日常生活の流動や物の流れは、熊本市方面の移動が主体的
○高森町からの緊急搬送は、二次救急医療施設が立地する阿蘇市への搬送が多い
○高森町に立ち寄る観光客は、熊本市方面や阿蘇市方面との結びつきが強い

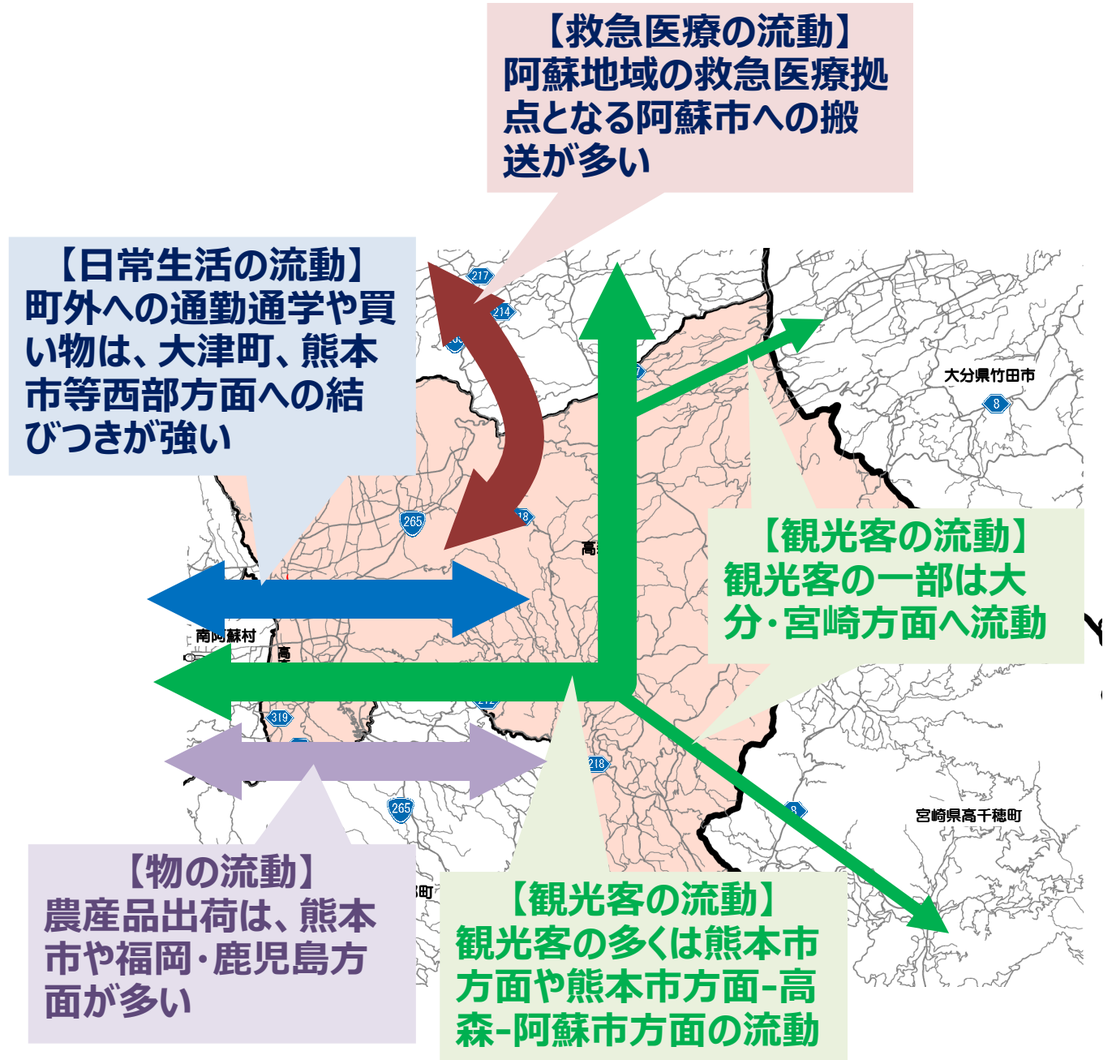


図　地域の人や物の流れの現状

4．現状の道路上の問題点把握

4-1 主要事業所等から得られた道路の問題点

○地域からは国道 265 号の走行性や信頼性の低さによる影響を多くの分野から指摘
○また、町内の一般県道の道路環境の悪さに対しても指摘
○各分野から、阿蘇市をはじめとした周辺地域との連携強化の重要性が指摘

表　各分野から寄せられた道路に関する声（ヒアリング調査結果）

分野	道路に関する主な意見・指摘
救急医療 （阿蘇広域 消防本部）	○**高森町の緊急搬送先の多くは阿蘇市**。 ○**国道 265 号の走行性が悪いため搬送時間が長くなり、管轄内で最も緊急搬送に時間を要する地域**。 ○**冬場の信頼性も低い**為、国道 57 号を経由し、大きく迂回して搬送する事もある。 ※高森町から阿蘇医療センター 平均輸送時間：68 分 上位搬送先 / H27 / H28 / H29 阿蘇医療センター(阿蘇市) / 58人 / 74人 / 78人 阿蘇立野病院(南阿蘇村) / 53人 / 23人 / － 熊本セントラル病院(大津町) / 46人 / 24人 / 47人 熊本赤十字病院(熊本市) / 40人 / 25人 / 28人 そよう病院(山都町) / 25人 / 57人 / 37人
公共交通 （産交バス）	○国道 325 号や国道 265 号バス運行区間では問題はない。 ○町内の**一般県道は、道路幅員の狭さや維持管理の悪さがバス走行上の問題**。 ○**国道 265 号の走行性（阿蘇市までの所要時間）が改善されれば、阿蘇市と南阿蘇村、高森町を循環するバスの運行も考えられる**が、現状では厳しい。
農業 （農林政策課）	○**宮崎や大分方面への出荷は少なく、道路環境が整えば出荷拡大が見込める地域**となる。 ○**阿蘇市等と連携した民泊の取組を推進**している。 ○農家の方は JA 拠点がある**阿蘇市に移動する機会**が、特に農閑期となる冬場に多くなるが、**国道 265 号の信頼性が低い為支障をきたしている**。
観光 （高森町観光協会）	○**観光客、特にインバウンド客は阿蘇市との結びつきが強く**、移動方法を聞かれる機会が多い。 ○**周辺自治体と連携し阿蘇地域が一体となった観光連携を推進**している。 ○熊本空港民営化を見据え、空港を軸に阿蘇観光を強化する検討が進められているが、**国道 265 号は大型バスが利用しづらく連携がしづらい道路という意見**があった。

4-2 現状の道路の問題点

○高森町の現状や今後の地域づくりを見据えた時の現状の道路の問題点としては、『南北方向の連携を阻害する道路構造が脆弱な国道 265 号』、『町内の移動を支える一般県道や一部町道の道路水準の低さ』の 2 点

問題点 1　南北方向の連携を阻害する道路構造が脆弱な国道 265 号

○町外移動や地域間交流、救急医療、災害時の移動確保を担う路線は『国道 265 号』、『国道 325 号』、『主要地方道 28 号（熊本高森線）』の 3 路線
○『国道 325 号』、『主要地方道 28 号（熊本高森線）』は地域の求める連絡機能を有している。
○『国道 265 号』は、走行性や信頼性の低い脆弱な道路構造となっており、その事で**救急医療や観光、農業面など各分野に影響**し、**将来的な地域づくりの面でも阻害要因**。

問題点 2　町内の移動を支える一般県道や一部町道の道路水準の低さ

○高森町の町内移動は一般県道や１・２級町道が担っている。
○これら路線は、**道路改良率が低い路線が多く見受けられるなど、道路構造上の問題**を有している
○特に県管理路線においては、**維持管理水準の低い（路面状況が悪い、路上への自然障害物（枝・落葉）が見受けられる　等）路線が多い**状況。

5．高森町に求められる将来道路交通ネットワークの設定

5-1 求められる将来道路交通ネットワークのあり方（基本方針）

将来の高森町の道路ネットワークに求められる機能

＜広域的な移動を支える道路ネットワーク機能＞

○東西方向の流動機能の確保
○南北方向の流動機能や速達性、信頼性の確保
○周遊機能の確保
○高速 IC との接続性確保
○道路の強靭性確保

＜町内の移動を支える道路ネットワーク機能＞

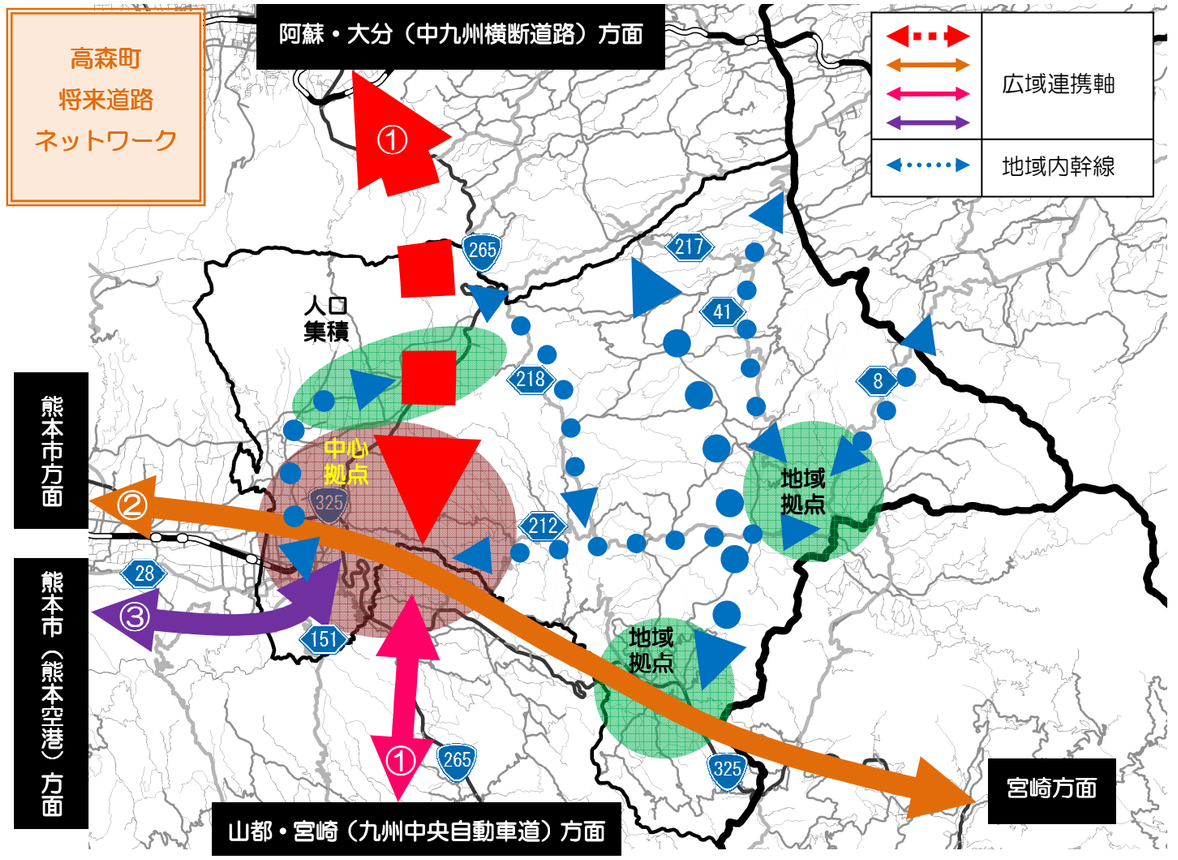
○主要路線へのアクセス機能確保
○地域拠点へのアクセス機能確保
○最低限の道路構造の確保や維持管理の確保

将来道路交通ネットワークのあり方

1.地域住民の町内外の移動や広域的な観光周遊をはじめとした地域間交流の促進、さらには、災害時における周辺地域との連絡を確保する『強靭で信頼性が高い東西・南北方向の広域連携軸』の形成

2.地域住民の地域内の各拠点への移動や町内における観光周遊、さらには災害時における人や物資などの移動を確保する『最低限の道路水準を確保した地域内幹線軸』の形成

5-2 求められる将来道路交通ネットワークの設定



【将来ネットワーク形成に向け町で実施する事項・他道路管理者と協議していく事項】

	対象路線		町実施事項・他道路管理者との協議事項
広域連携軸	①	新規路線	阿蘇市へ連絡する新規路線整備
		国道 265 号	国道 265 号の適切な維持管理
	②	国道 325 号	適切な維持管理
	③	主要地方道２８号（熊本高森線）	未改良区間への対応及び適切な維持管理
地域内幹線軸	○主要地方道 41 号（高森波野線） ○一般県道 151 号（清和高森線）・212 号（津留柳線）、217 号（河原新波野線）・218 号（上色見草部線）・319 号（仏原高森線） ○１・２級町道		未改良区間への対応及び適切な維持管理

：重点的に取り組む施策